

月刊「ワークホームだより」11月号

発行:2025年 10月 23日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

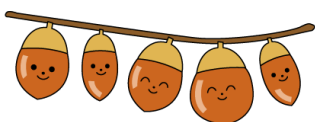
http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

Instagram



@WORKHOMETAKASAGO

道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である



ワークホーム高砂施設長 長谷川 博信

私事ですが、10月1日付けで事務局次長の兼務発令を受けました。

現在、私は法人理事とワークホーム高砂、納豆工房なっとこちゃんの施設長を兼ねて務めています。また、対外的には、兵庫県知的障害者施設協会の生産活動・就労支援部会長や兵庫県社会就労センター協議会協議員、高砂市社会福祉法人連絡協議会副会長をお受けしております。また、最近「なっとこちゃん」の知名度があがったことから、研修会の講師や執筆の依頼等が複数あり、納豆工房なっとこちゃんのみならず、ワークホーム高砂のことを多くの方の前で、恥ずかしながらも話す機会が増えています。

このような中にあっても事務を引き受けるのには理由があります。入所施設あかりの家は、もうすぐ40周年を迎えます。建物の老朽化は勿論のこと、利用者の高齢化に対し、機能面でも古くなってきています。ワークホーム高砂も昨年度20周年を迎え、同様のことが言えます。財務的な備えと適切な支出が必要であり、施設の維持管理を経理面からも支える必要があります。法人の解決すべき重要課題、現在風に言うと「イシュー」に取り組む訳です。

そもそも福祉業界では、現場主義のもと総務・経理的な事務が軽んじられる傾向があります。そんなことを思いながら、標題の福澤諭吉の言葉を借りることが多くなっています。これまで以上に事業も経営も両輪で考えていきたいと思っています。



稲刈りについてのお知らせ



今回の稲刈りに親子で参加される方には各親子に一本ずつノコギリ鎌を貸し出しする予定です。貸出できる数に限りがありますので、ノコギリ鎌をお持ちの方は当日持参いただくようお願いいたします。当日は汚れてもいい靴でお越しください。質問等がありましたら重田までお願いします。

11月予定

11月1日(土) 稲刈り & バーベキュー

11月12日(水) 工賃支給日

11月21、22日(金・土) 1泊旅行



権利擁護・虐待防止研修

今回の研修では、関西福祉大学で教授をされている谷口恭司氏による「現場で実践する意思決定支援」の講義と「事例から学ぶ意思決定支援」のグループワークを行ないました。

障がいのある方が自分らしい暮らしを実現するには、日々の小さな選択や意思表示の積み重ねがとても大切です。しかし、支援現場では「何がご本人の意志かわからない」、「安全や効率も大切」といった迷いや葛藤も多くあります。本講義の中で印象に残ったことを何個か紹介したいと思います。

まず一つ目は、信頼関係の深さが必ずしも本人との関わりの期間の間傘に比例しないということです。接触の機会が少ないからこそ後々の影響を考えるとなく意思を表明することも考えられるからです。

二つ目は、日々行なう意思決定は今までの経験が蓄積されたものが影響されます(障害の有無に問わず共通)。その中で成功体験については自己肯定感をあげることができますが、反対に失敗体験も次に同じことを繰り返さないという記憶として本人にとって大事な財産になるという事です。成功体験だけが利用者さんにとって前向きなことなのかなと思っていましたが、失敗体験も利用者さんのためになるのだと印象に残りました。

意思決定支援について今回学ばせていただき、単に利用者さんを尊重するだけで良いのか? 向き合うことが重要ではないかと感じることができました。現場の中で各利用者さんと向き合いながら今後も支援していきたいと強く思いました。(吉永)

今回の担当は野村でした

施設外就労を始めて

兵庫大学に施設外就労で清掃業務を始めて半年が経とうとしています。施設外就労ということもあり、ワークホームから出て社会性を身に着けることも兼ねて行なっております。そのため大学の先生方や生徒さん、また他者の清掃会社さんとすれ違う際は挨拶をするよう伝え心掛けています。その理由としては、まず挨拶することは悪い事ではないので何回しても良いのではという事と、されて嫌な気持ちになる人はいないからです。そして一番の理由は「ワークホームを代表して行っている」からです。清掃中はもちろん、大学にいる間はワークホームのユニフォームを着ています。そのため恥ずかしい姿を見せしてしまうと、ワークホーム高砂の人が…とその人だけでなく、ワークホームがという風になってしまうからです。だからこそ、責任を持って恥ずかしくないような振る舞い・行動をするように伝えています。そうした経験も出来るのが施設外就労の利点ではあるので利用者皆さんの社会性を身に付けれるよう僕たち支援員も恥じないよう支援していきたいと思っております。(吉永)



10月3日(金)加古川歯科保健センターの歯科衛生士さんに来ていただき、今年度2回目のブラッシング指導をしていただきました。今回は歯科衛生士学校の実習生さんも来られ、各利用者さんに適したブラッシング指導を一生懸命に学ばれていました。

明るく優しい歯科衛生士さん方と楽しく交流しながら正しいブラッシング方法を学び、とても綺麗な歯になりました。

お知らせしました指導結果には、前回同様に丁寧なコメントをいただいておりますのでご確認ください。虫歯や歯周病を予防することで、全身の健康維持につながります。虫歯治療の必要性、適切な歯ブラシ等についてのコメントがある方は、速やかに対応をお願いいたします。(山本)



ワークホーム高砂に異動してきて

この4月より嘱託職員から正規職員としてワークホーム高砂で働かせてもらってからもう半年が経とうとしています。しかし、ここあかりの家の法人で勤め始めて実は在籍6年目になります。納豆工房から異動という形でワークホームに来ているイメージかと思いますが、1,2年目はワークホームで働いていました。2年目の途中から納豆工房に異動になり、再び戻ってきたという経緯になります。

また、ほとんどの時間はグループホーム(希望山荘)に勤務していたため、行事ごとや研修などこれまでは参加することはありませんでしたが、これからはそういったものにも参加していきます。皆さん是非、お気軽に話しかけてください！

僕自身そういったイベントごととは大好きなので楽しんで盛り上げていきたいと思っています。

最後に、こうして出会った利用者さんたちとの出会いは何かのご縁だと思います。正規職員になってから半年も経ちますがまだまだ右も左も分からない若輩者です。これから色々な事を勉強しながら皆さんと一緒に成長していけたらと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。(吉永)

